

ROSSINI ミニバスケットワゴン 天板付き 2段

品番：ROWG-41T-2D



この度は、本製品をお買い上げ頂き誠に有り難うございます。
ご使用前に、必ずこの説明書を最後までお読み頂き、正しい使い方で末永く
ご使用下さい。

！注意事項

- 危険ですので、ワゴン以外の用途にご使用しないで下さい。
- 製品の上に、水気のものや熱を持ったものを直接置かないで下さい。
- 直射日光のあたる場所や、湿気の多い場所でのご使用は控えて下さい。
変形・変色の恐れがございます。
- 水平な場所でご使用頂きますように、お願いします。
- 商品に偏った体重のかけ方をされると横転の危険があります。特に
ご注意下さい。
- 組立ての際には床等が傷つかないように、布等を敷いた上で組立てして
下さい。
- ご使用中にゆるみが出た場合は、各部分のボルト・ネジを確実に締め直
して下さい。

ROSSINI ミニバスケットワゴン 天板付き 2段(ROWG-41T-2D)

品質表示

※外形寸法: 約 幅410mm×奥行360mm×高さ460mm

※表面材 : (天板)天然木
(脚部・バスケット)スチール

※表面加工:(天板)ラッカ一塗装
(脚部・バスケット)エポキシ粉体塗装

取扱上の注意

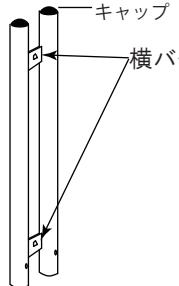
1. 湿気の多い場所でのご使用はお避け下さい。
2. ご使用の際は、水平に保つようにして下さい。
3. 直射日光またはストーブなどの熱はお避け下さい。
4. 加熱したなべ、湯沸かし等を直接置かないで下さい。
5. 腰掛けたり上には乗らないで下さい。

表示者: 株式会社B.Bファニシング
大阪府堺市東区丈六171-37 ユニイマニシビル2F
TEL: 072-230-3334

MADE IN CHINA

組立説明書 ※プラスドライバーをご用意ください。

部材	※組立前に、以下の部材が揃っているか必ずご確認下さい。
①大バスケット（下段用）、小バスケット（上段用）	1セット
②天板	1枚
③鉄片	4枚

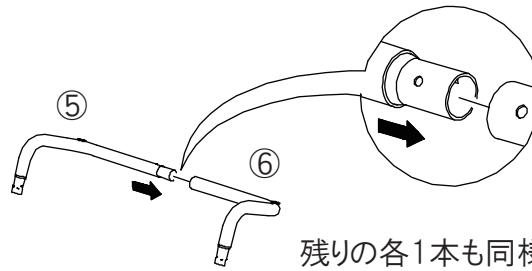
④パイプ 	2本
⑤曲げパイプA	2本
⑥曲げパイプB	2本

部品	※組立前に、以下の部品が揃っているか必ずご確認下さい。
A:ボルト(長)	 4本+予備1本
B:ナット	 4本+予備1本
C:ボルト(短)	 6本+予備2本
D:スパナ	 1本
E: キャスター (ロック付き)	 2個
F: キャスター	 2個
G:天板のがたつき止め	 4個
H:Sフック	 2個

1

組立する前に、組立時に床などが傷つかないように、毛布や段ボールなどの上で組立を行うように、お願い致します。

⑤曲げパイプAと⑥曲げパイプBを、下記のイラストの様に、挿し込んで下さい。

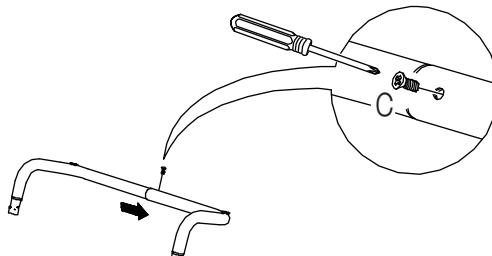


残りの各1本も同様に差し込んで下さい。

2

1 で組立てたパイプに、ボルト穴が開いていますので、その穴に、Cボルト(短)を、プラスドライバーで取付けて下さい。

※Cボルト(短)は、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。

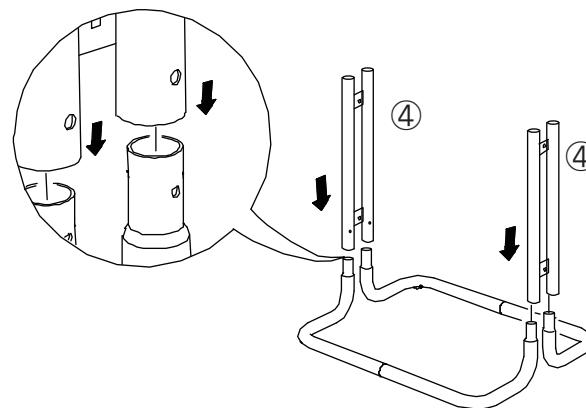


残りの各1本も同様にCボルトで組み立てて下さい。

3

2 で組立た物を、下記のイラストの様に上に向けて下さい。次に、④パイプを下記のイラストの様に挿し込んで下さい。

※④パイプにボルト穴が開いています。この穴は内側に向けて取付けて下さい。

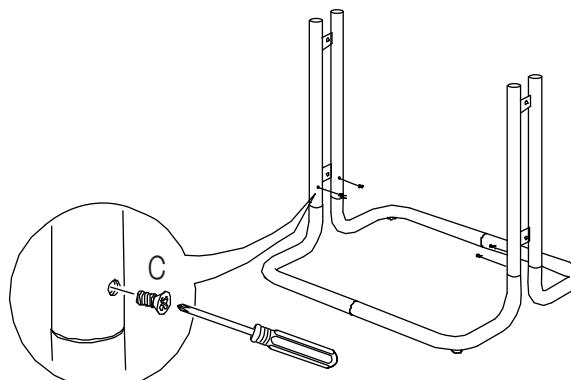


4

3 で組立てた物に、下記のイラストの様にCボルト(短)を、プラスドライバーで取付けて下さい。

注意!

※Cボルト(短)は、最後まで締めるのではなく、少し動くぐらいの仮止めにしておいて下さい。
このCボルトを最後までしっかりと締めた場合に、ボルトの締める力にパイプが引っ張られて、がたつきの原因になる可能性がございます。
このCボルトは、仮止めでも使用上の強度には影響はございません。

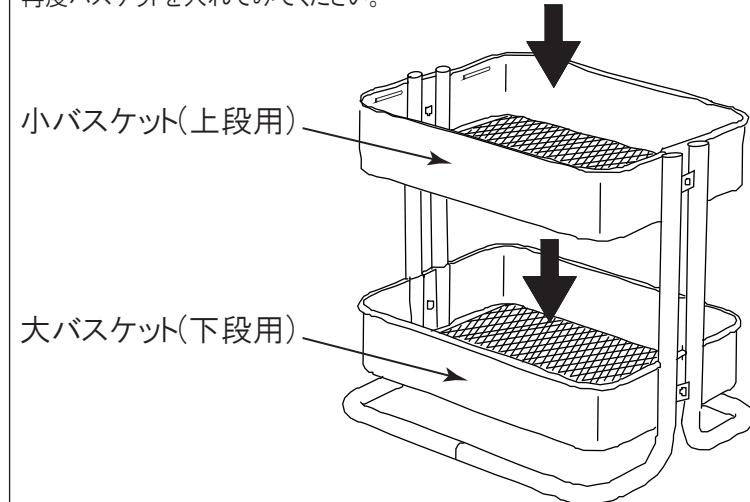


5

2 で組立てた物を、下記のイラストの様に、①大バスケット(下段用)、小バスケット(上段用)を上から入れて下さい。

注意!

※上記のバスケットを入れる作業の時に、4で仮止めにしていたCボルトのボルト頭が、バスケットの底とぶつかりあう場合がございます。
その場合は、4 で仮止めしてある、Cボルトをもう少し締めて調整をしてから、再度バスケットを入れてみてください。



6

5 で組立てたものを、下記イラストの様に、横に転倒して下さい。
次に、④パイプの横バーに開いている穴に、下記のイラストを参考にして、③鉄片とAボルト(長)を外側から通したあと、バスケットの側面に開いている穴にもAボルト(長)を通してから、バスケットの内側からBナットを指でくるくると回すようにして止めて下さい。

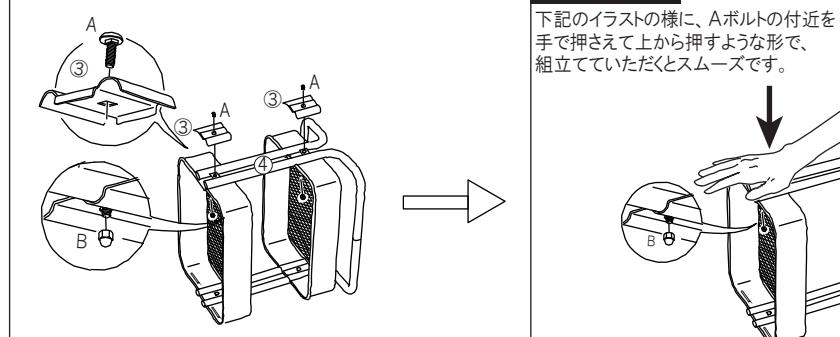
注意! ④パイプの横バーのボルト穴にAボルト(長)を貫通させずに組み立てると、バスケットが斜めに歪んで組み上がりますのでご注意ください。

注意! バスケットの組立てる順番ですが、最初に上部バスケットを取り付けてから、次に下部バスケットを取付けるようにして下さい。

注意! Aボルト(長)は、最後まで締めるのではなく、指で回して止められる程度の仮止めにしておいて下さい。

組立のコツ!

下記のイラストの様に、Aボルトの付近を手で押させて上から押すような形で、組立てていただくとスムーズです。



7

- 6 で組立てた物を、反対側に裏返して、次に④パイプの横バーに開いている穴に、下記のイラストを参考にして、
6 と同様に③鉄片とAボルト(長)を外側から通したあと、バスケットの側面に開いている穴にもAボルト(長)を
通してから、バスケットの内側からBナットを指でくるくると回すようにして止めて下さい。

注意!

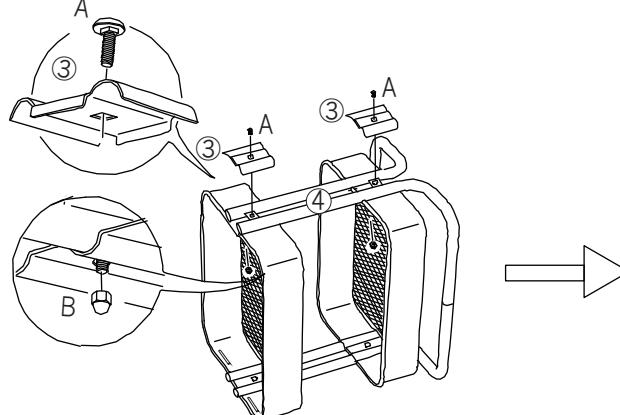
- ④パイプの横バーのボルト穴にAボルト(長)を貫通させずに組み立てると、バスケットが斜めに歪んで組み上がりますので
ご注意ください。

注意!

- バスケットの組立てる順番ですが、最初に上部バスケットを取り付けてから、次に下部バスケットを取付けるようにして下さい。

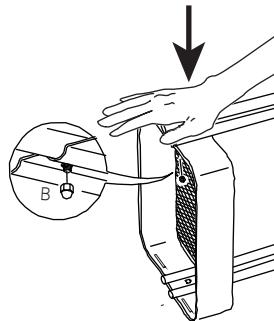
注意!

- Aボルト(長)は、最後まで締めるのではなく、指で回して止められる程度の仮止めにしておいて下さい。



組立のコツ！

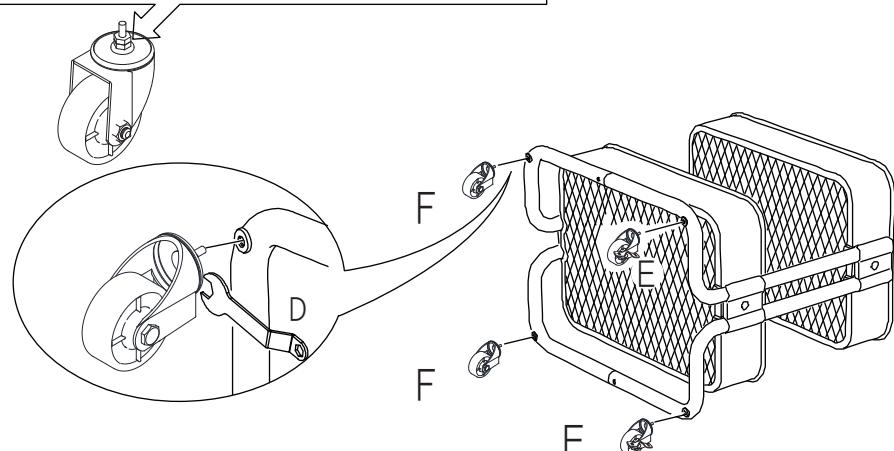
下記のイラストの様に、Aボルトの付近を手で押さえて上から押すような形で、組立てていただくとスムーズです。



8

- 7 で組立てた物の裏側に、下記のイラストの様にEキャスター(ロック付き)とFキャスターをDスパナを使用して、
取付けて下さい。

※E,Fキャスターのナットが1番下まで締め
てあるか確認してから取付けて下さい。

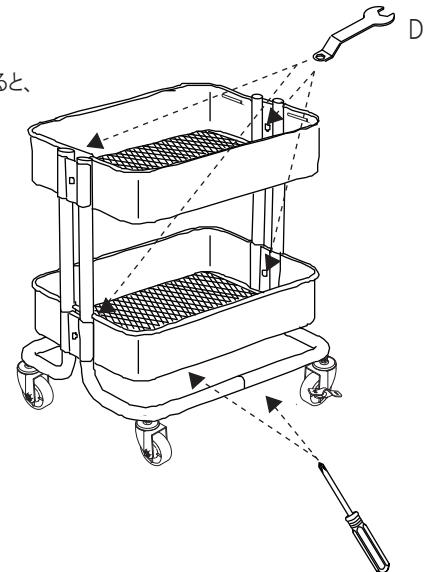


9

- 8 で組立てた物を起こしてください。次に下記のイラストの様に、2 で仮止めになっていた、Cボルト(短)をドライバーを使用して最後まで締めて下さい。
力いっぱいに締めずに、ある程度固くなればOKです。
次に、6 と 7 で仮止めになっていた、Aボルト(長)を、Dスパナを使用して最後まで締めて下さい。

注意!

- Aボルト(長)は、Dスパナを使って力いっぱい締めると、
ボルトを締める力の方が強いので、バスケットの
鉄板が歪んでしまう可能性があるので、
力いっぱい締めずに、ある程度固くなって、
バスケットが前後にかたがたしない程度で
止めて下さい。

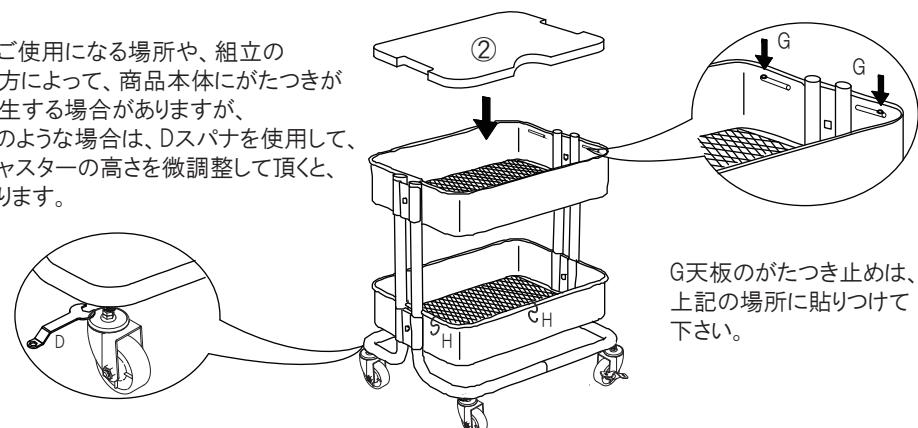


10

- 9 で組立てた物の、上部バスケットの左右に天板止めのストッパーが溶接されている
ので、そのストッパーの上に、G:天板のがたつき止めを貼りつけて下さい。
次に、上部バスケットに②天板を乗せるようにしておいてください。
Sフックを下段バスケットにお好みの位置に掛けて下さい。
これで完成です。

※上部バスケットとパイプの間に、若干隙間ができる場合がありますが、
強度等には問題有りません。

※ご使用になる場所や、組立の
仕方によって、商品本体にがたつきが
発生する場合がありますが、
そのような場合は、Dスパナを使用して、
キャスターの高さを微調整して頂くと、
直ります。



G天板のがたつき止めは、
上記の場所に貼りつけて
下さい。